

2025年6月20日

特定非営利活動法人電線のない街づくり支援ネットワーク

第18回社員総会

WEB形式：Cisco Webex

☞ 本日のプログラム（15：00～16：00、14:30 受付開始）

1. 開会宣言
2. 定足数の発表
3. 議長の選出
4. 議事録作成・署名人の選任
5. 理事長挨拶
6. 第1号議案 令和6年度事業報告の件
7. 第2号議案 令和6年度決算報告の件
8. 第3号議案 令和7年度事業計画案の件
9. 第4号議案 令和7年度活動予算案の件
10. 第5号議案 令和7年度役員再任の件
11. 閉会宣言

☞ 各支部方針発表（16:00～16:30）

☞ 第18回 NPO無電柱ネット総会セミナー（17：00～18：40、16:30受付開始）

～近畿地方の無電柱化の現状と日本の観光地における無電柱化の現状～

1. NPO 無電柱ネット理事長 挨拶 当 NPO 理事長 高田 昇 17:00～17:05（5分）
2. 「近畿地方整備局における無電柱化の取組みについて」 17:05～17:25（20分）
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路管理課 課長補佐 大前 利夫
※質疑応答 17:25～17:35（10分）
3. 「日本の観光地における無電柱化の現状」 17:35～18:15（40分）
国土交通省 道路局 環境安全・防災課 企画専門官 中屋 正浩
※質疑応答 18:15～18:25（10分）
4. 事務局報告 当 NPO 理事・事務局長 井上利一 18:25～18:30（5分）
5. 「法定第3期無電柱化推進計画の策定に向けて」 18:30～18:45（15分）
当 NPO 顧問、一般財団法人日本みち研究所専務理事 森山 誠二

☞ 交流会は、会員希望者のみに限定させていただいています。 19:00～

場所：大衆食堂うめだホール <https://umedahall.owst.jp/>

大阪市北区梅田1丁目1-3 B1-25 大阪駅前第3ビル B1F

会費：4000円（飲み放題）

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人電線のない街づくり支援ネットワーク

I 事業期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

II 事業の成果

大阪本部での全国技術委員会 OSAKA では、国土交通省（国交省）低コストワーキンググループ（WG）で検討を進めている側溝内配管や T-25 の問題を、民間の立場で検証し、議論を深め、当 NPO としての検証結果を提案としてまとめている。また他にも無電柱化の諸課題を大阪の理事・会員で取り上げ、議論し、国交省各部会への提案や民間技術の推進に結びつけるように努めている。法人正会員の製品紹介も引き続き募集している。

東京支部の東京活動委員会は、国交省部会の報告や最前線の情報の提供を行っている。また海外事例の紹介も実施している。更に、無電柱化関係者を招いての講演等も行っている。今年度は東京都都市局ご担当者に補助金制度の概要を講演いただいた。10月16日には、つくば市の街並み見学会を実施した。

その他、各支部でも地域に根ざした活動委員会やイベントをとり行った。

北海道支部では、11月10日の無電柱化の日に、北海道開発局・北海道・札幌市が主催した無電柱化パネル展「無電柱化の日 全道一斉パネル展 わがまちの無電柱化を考える in チ・カ・ホ」（開催期間 11/5～11/10）に全面協力した。会期中は多くの市民が足を止めてパネルを見学した。

その他、無電柱化の啓発事業として、札幌市立伏見小学校での出前授業（R6 12/10、小学校4年生対象）を実施した。北海道開発局の各開発建設部での勉強会も行っている。

沖縄支部では、地元会員の要望のもと、5月10日伊平屋村役場にて井上事務局長が無電柱化勉強会を行った。当 NPO 井上事務局長が主査を務め、同 NPO の理事・会員が委員を務める民間サブワーキンググループでは、令和6年3月26日に、国土交通省 道路局 環境安全・防災課が発出した『無電柱化のコスト縮減の手引き』の本編に取り入れられた低コスト製品・工法の意見聴取を他の WG に行った。

7月24日から26日にかけて、東京ビッグサイト東展示棟で開催された第12回無電柱化推進展では、昨年に引き続き、「日本の無電柱化☆最前線～厳選！低コスト好事例～」として、ブースの壁面全面を使って全国の主な無電柱化好事例の紹介をした。更に無電柱化の好事例や、最新の情報を小冊子にまとめ、当 NPO ブースで無料配布した。会員企業様の製品展示も実施した。

今回の推進展は、無電柱化を推進する市区町村長の会（首長会）勉強会を兼ね、多くの行政関係者にミニセミナーの講演に協力していただき、計11講演を行い、来場者の関心を集めた。またコンストラクションステージで行われた井上事務局長の講演も会場はほぼ満員で大盛況だった。

無電柱化を推進する市区町村長の会、一般財団法人日本みち研究所と連携し、先の無電柱化推進展のほか、総会運営や勉強会、11月11日に開催した「無電柱化の日」イベント、無電柱化まち歩きショート動画コンテストを実施した。

「無電柱化の日」では、11月9日に大阪で、11月10日には、東京お台場で無電柱化の日イベント（近代設計様運営、NPO 協賛）も実施した。

11月24日には、岡山県矢掛町での無電柱化視察会も実施し、同町の担当課長様に無電柱化事業の経緯とこれからの展開についての説明もしていただいた。

また、無電柱化の啓発事業の一つとして、大学生のインターンを受け入れている。春夏の2期各2カ月間で3名～5名の学生を受け入れた。来期も引き続き希望があれば受け入れたい。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動にかかる事業 ※収支が0円の事業は収支を割愛しています。

(1) コンサルティング事業

【事業名】梅田東地域まちづくり調査検討（無電柱化支援）業務

【内 容】 芝田まちづくり協議会の無電柱化支援業務を継続。

【収入】 31 千円 **【支出】** 28 千円

【事業名】令和 6 年度 無電柱化を推進する市区町村長の会 総会

【内 容】 無電柱化を推進する市区町村長の会総会運営を受託。

【実施場所】 衆議院 第一議員会館 地下一階会議室 WEB (Cisco Webex)

【実施日時】 R6 年 6 月 13 日

【事業の対象者】 無電柱化を推進する市区町村長の会

【収入】 117 千円 **【支出】** 98 千円

【事業名】令和 6 年度 無電柱化を推進する市区町村長の会 第 1 回 勉強会

【内 容】 無電柱化を推進する市区町村長の会勉強会運営を受託。第 12 回無電柱化推進展のブース内ミニセミナーを共同で運営。WEB 配信 (Cisco Webex) も実施。

<ミニセミナータイトルと講師>

- ・ 無電柱化に対する国民の理解と関心事
(国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 大部 裕次)
- ・ 鎌倉市無電柱化事例紹介 (鎌倉市 都市整備部 道路課整備担当 担当係長 佐野 俊平)
- ・ 海外の無電柱化事例 (当 NPO 理事 前川 充)
- ・ ぶっちゃけトーク 日本の無電柱化事例から
(当 NPO 事務局長 井上 利一、理事 井上 了介、理事 佐伯 康二)
- ・ 無電柱化加速化のための提言 2. 0
(一般財団法人日本みち研究所 専務理事・NPO 無電柱ネット顧問 森山 誠二)
- ・ 無電柱化住宅見学会 事例紹介 浦和美園 E-フォレスト (当 NPO 理事 北村 良)
- ・ 北海道における無電柱化の日イベントの紹介
(北海道開発局 建設部 道路維持課 防災第 1 係長 小玉 善仁)
- ・ 地上機器を集中配置し、コンパクト化を実現。ポルトソール通りの無電柱化事例紹介
(大分市 土木建築部 公園緑地課 政策監 和歌 宏文 大分市 道路建設課 西部建設担当班 参事補 加藤 信幸)
- ・ 無電柱化事業でお困りではありませんか？ 皆さんの声をお聞かせください！
(国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官 一丸 結夢)
- ・ 日本の無電柱化最新情報と防災対策としての無電柱化
(国土交通省 道路局 環境安全・防災課 課長補佐 山岡 敏之)
- ・ 竹富町の無電柱化の取り組み (竹富町まちづくり課 土木建築係 課長補佐 宇根 聖暁)

【実施場所】 東京ビッグサイト東展示棟・当 NPO 法人ブース WEB (Cisco Webex)

【実施日時】 R6 年 7 月 24 日～26 日

【事業の対象者】 無電柱化を推進する市区町村長の会会員、当 NPO 正会員、会場来場者

【事業名】令和 6 年度 無電柱化を推進する市区町村長の会 第 2 回勉強会

【内 容】 当 NPO 主催の「無電柱化の日」無電柱化まち歩きショート動画コンテスト！

【実施場所】 日本みち研究所 分室、WEB (Cisco Webex)

【実施日時】 R6 年 11 月 11 日

【事業の対象者】 無電柱化を推進する市区町村長の会会員、当 NPO 正会員 19 名参加。応募作品 38 作品、入選作品 11 作品、受賞作品 4 作品。

【収入】 20 千円 **【支出】** 10 千円

【事業名】令和 6 年度 無電柱化を推進する市区町村長の会 第 3 回勉強会

【内 容】 無電柱化を推進する市区町村長の会勉強会運営を受託。

現地視察 無電柱化エリアを含めたまち歩き 小浜縦貫線 (鯖街道起点)

会長あいさつ

開催地市長 (小浜市) あいさつ

講演

- ・国土交通省における無電柱化の取り組みについて
（国土交通省 道路局 環境安全・防災課 交通安全政策分析官 田中 衛）
- ・近畿 地方整備局における無電柱化の取り組みについて
（近畿地方整備局 道路部 地域道路調整官 藤田 晶久）
- ・金沢市の無電柱化推進に向けた取り組みについて
（石川県金沢市 土木局 道路建設課 無電柱化推進室 室長 諸江 久尚）
- ・京都市における無電柱化の推進
（京都府京都市 建設局 道路建設部 道路環境整備課 道路環境計画係長 岸田 康治）

【実施場所】 福井県小浜市働く婦人の家 3階会議室、WEB（Cisco Webex）

【実施日時】 R6年 11月 18日

【事業の対象者】 無電柱化を推進する市区町村長の会会員、当 NPO 正会員
63名参加（会場 33名、WEB 30名）

【収入】 165千円 【支出】 159千円

(2) 研究開発事業

【事業名】 国土交通省無電柱化推進技術検討委員会 低コスト推進ワーキンググループ 民間サブワーキンググループ

【内 容】 国土交通省より井上事務局長が無電柱化推進部会の民間サブワーキンググループ主査に委嘱され、民間の立場で無電柱化の低コスト化について、材料や工法などの検討や検証を3か月に一度のペースで議論を行い、上部組織である無電柱化推進技術検討会に提案をした。
また、R6年3月26日に発出された、国土交通省の『無電柱化低コスト手法の手引き Ver.2』の改訂版といえる『無電柱化のコスト縮減の手引き』の本編に掲載された製品・工法の検証も行い、他のサブワーキンググループ（電力・通信・コンサル・合意形成 SWG）への意見聴取も行った。
令和7年度も引き続き無電柱化推進技術検討委員会、低コスト推進ワーキンググループ、民間サブワーキングを継続実施。

【実施場所】 (一財)日本みち研究所 分室ほか、WEB（Cisco Webex）

【実施日時】 R6年4月からR7年3月までに計3回、7/11、9/11、11/6
※低コストワーキンググループは、6/4、9/4、2/7

【事業の対象者】 低コスト推進ワーキンググループ委員、民間サブワーキンググループ委員、低コスト製品・工法技術の発表者

(3) 広報相談事業

当法人の活動内容を多くの関係者や国民に知っていただくことで正会員を増やすとともに、関係当局<国（国土交通省）・自治体（都市環境・道路整備課等）・電線管理者（電力・通信事業者）>への働きかけを強めることで、今後の無電柱化の推進を目指す。

【事業名】 沖縄県伊平屋村無電柱化勉強会

【内 容】 伊平屋村の無電柱化推進計画の策定について当 NPO の井上事務局長が講演。

【実施場所】 伊平屋村役場 2階会議室

【実施日時】 R6年 5月 10日

【事業の対象者】 地元自治体関係者 28名

【収入】 245千円 【支出】 223千円

【事業名】 プロジェクト N ミリケン・ジャパン様 繊維さや管製品説明会

【内 容】 ミリケン・ジャパン様の繊維さや管製品について会員に説明する機会をもつ。

【実施場所】 大阪市中之島中央公会堂 第8会議室

【実施日時】 R6年 6月 14日 15:00~16:30

【事業の対象者】 ミリケン・ジャパン関係者、会員 15名

【事業名】 北海道開発局 釧路開建 建設局 無電柱化勉強会

- 【内 容】北海道開発局 釧路開建 建設局様より、無電柱化の勉強会の要請を受け、井上事務局長が講演。
【実施場所】釧路開建 7階第5会議室
【実施日時】R6年6月26日 13:30～15:00
【事業の対象者】北海道開発局 釧路開建関係者、会員 35名

◆展示会・パネル展の出展◆

【事業名】メンテナンスレジリエンス展 TOKYO・第12回無電柱化推進展に出展

【内 容】1. 今回はNPOで2ブースを展開!!

- ・東京都の補助金を申請して、スペースを広くとり、展示や企画を充実させる。
- ・無電柱化施工の好事例の地図を壁面いっぱい展開して効果的に演出。
- ・会員企業様の協賛展示を展開。未来工業(株)、(株)オーコ、シンテック(株)
- ・カウンター台とラックを置き、冊子と資料を展開し、来場者に配布。

2. 小冊子6と今年の6好事例集を展開!

- ・会員企業さまの協賛を得ながら「小冊子6」を発行!無料配布を行う。
- ・「好事例集」も昨年に引き続き好評!⇒「好事例集」は、国交省が出している全国の無電柱化好事例37件を掲載している。⇒壁面のパネルの事例と連動。

3. 壁面パネルで、直接無電柱化好事例をみながら来場者と話せるように展開!

- ・最新の無電柱化製品や工法、離島での低コストでの無電柱化などを実際のパネルを使って説明することができた。来場者の疑問や意見を確認しやすかった。
- ・壁面パネルで事例紹介した、大分市のふないポルトソール通りと竹富町の町道細崎(くぼざき)線のご担当者にミニセミナーの出演をしていただいた。⇒パネル・好事例集など小冊子・ミニセミナーの講演を連動させることで内容に幅を持たせることができた。

4. コンストラクションステージの井上事務局長の講演は大盛況!

300名の席がほぼ満員の状態で盛況だった。

タイトル:「無電柱化と格闘する!～自治体・デベロッパー・団体の軌跡～」

NPOブースの壁面のパネルで紹介している大分市 ポルトソール通りや竹富島、高知市国道56号線の常設作業帯のことなどを紹介。

その他、デベロッパーの格闘なども紹介。

コンストラクションステージの講演内容とNPOブースの壁面パネルの内容を連携させて、講演後にブースに来てもらうように誘導してもらった。

5. 特色あふれるミニセミナーの講演

今年も充実!! 無電柱化ミニセミナー ～魅力あふれる11ステージをご紹介～

いつもお世話になっている多くの関係機関にご協力いただき、充実したラインナップで期間中に臨むことができた。20分～30分のコンパクトな内容

最終日には、国交省道路局の山村課長補佐にも講演をいただいた。

【実施場所】東京ビッグサイト 東展示棟

【実施日時】R6年7月24日から7月26日

【事業の対象者】展示会来場者(当NPO会員、無電柱化に携わる関係者、行政担当者、一般の参加者)

【収入】450千円(協賛展示、製品紹介)【支出】1,787千円

※令和6年度東京都省エネ・再エネ住宅普及促進事業補助金普及啓発事業として

1,008千円補助金を受給

【事業名】近畿地方整備局大阪国道事務所主催 無電柱化啓発イベント すすめよう!無電柱化!スペシャルトークショー

【実施場所】みちまちスクエアきた特設ステージ

【実施日時】R6年11月9日 13:15～16:00

【事業の対象者】行政担当者、一般の参加者

【内 容】国土交通省では、「防災」、「安全・快適」、「景観・観光」の観点から、積極的に無電柱化を推進しています。この普段聞きなれない「無電柱化」について、目的や取り組みの現状を知っていただくため、西脇彩華さんや専門家の方とクイズを交えながら学べるイベントを開催。(主催者・国土交通省のチラシより)。井上事務局長が無電柱化の専門家として登壇。

【事業名】無電柱化啓発イベント（東京お台場開催）

【内容】無電柱化の重要性に関する国民の理解と関心を深め、無電柱化に国民の協力が得られるよう、「無電柱化の日」（毎年11月10日）を活かしたイベントをショッピングモール内で実施。一般の方・お子様を対象とした無電柱化啓発イベントを開催。

・パネル展示、VR体験、デジタルサイネージ、クイズチャレンジ、着ぐるみ、おりがみ・塗り絵、模型展示（管路、ミニチュア樹）、パンフレット等配布

主催：NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク、共催：株式会社近代設計

【実施場所】アクアシティお台場 3F アクアアリーナ

【実施日時】R6年11月10日 11:00～18:00

【来場者数】総来場者数：約1,100人 クイズ参加者数：978人 VR体験者数：36人

【事業名】無電柱化の日全道一斉パネル展「わがまちの無電柱化を考える in チ・カ・ホ」

【内容】国土交通省北海道開発局・北海道・札幌市主催の無電柱化の日全道一斉パネル展「わがまちの無電柱化を考える in チ・カ・ホ」のイベントに当NPO北海道支部が協力。事務局からも応援。札幌・函館などの会場にNPO関係者を派遣し、お手伝い。NPOパンフ、無電柱化小冊子6、無電柱化好事例集、小学生向け無電柱化クリアファイル、名入りポケットティッシュなどを現地で配布。

【実施場所】札幌駅前地下歩行空間（チ・カ・ホ）北1条イベントスペース、函館市役所の会場など

【実施日時】R6年11月5日から11月10日

◆セミナーの開催◆

【事業名】第17回総会セミナー『日本の無電柱化最新情報と防災対策としての無電柱化』

【内容】当NPOの社員総会の機会を利用してセミナーを企画。

【実施場所】大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室 WEB（Cisco Webex）

【実施日時】R6年6月24日

【事業の対象者】全国を対象とした会員企業・無電柱化関連企業、行政関係者、電線管理者、一般参加者。
参加者72名（会場参加：38名 WEB参加：34名）

【当日スケジュール】

1. 主催者あいさつ 理事長 高田 昇
2. 講演1 「日本の無電柱化最新情報と防災対策としての無電柱化」
国土交通省 道路局 環境安全・防災課 企画専門官 中屋 正浩 様
3. 講演2 「無電柱化加速化に向けての提言 2.0」
当NPO顧問 一般財団法人日本みち研究所 専務理事 森山 誠二 様
4. 事務局報告 理事・事務局長 井上利一

【支出】45千円

◆講演活動◆

【事業名】メンテナンスレジリエンス展 TOKYO・第12回無電柱化推進展でセミナー講演

【内容】コンストラクションステージの井上事務局長の講演は大盛況！300名の席がほぼ満員の状態で盛況だった！タイトルは、「無電柱化と格闘する！～自治体・デベロッパー・団体の軌跡～」
NPOブースの壁面のパネルで紹介している大分市 ポルトソール通りや竹富島、高知市国道56号線の常設作業帯のことなどを紹介。その他、デベロッパーの格闘なども紹介。

【実施場所】東京ビッグサイト 東展示棟

【実施日時】R6年7月25日

【事業の対象者】全国を対象とした会員企業・無電柱化関連企業、行政関係者、電線管理者、一般参加者。

【事業名】静岡県建設技術監視センター 講演

【内容】井上事務局長が『無電柱化の取り組み事例』と題して講演

【実施場所】 もくせい会館

【実施日時】 R6年5月29日

【事業の対象者】 静岡県建設技術監視センター関係者、県職員

◆メディア出演・雑誌掲載◆

特になし。

(4) 情報収集事業

◆各支部活動委員会開催◆

【事業名】 全国技術委員会 OSAKA

【内 容】 無電柱化の低コストにつながる材料、工法についての情報提供や情報交換を行った。

【実施場所】 大阪市立総合生涯学習センター5階会議室ほかとWEBを併用。

【実施時期】 R6年4月からR7年3月までに計5回 5/17、9/27、11/26、1/24、3/25

【事業の対象者】 当法人正会員の企業を中心としたメーカー、建設コンサル、商社等が発表。会員20名参加。その他の行政関係者を合わせると20名～30名参加

【支出】 40千円

【事業名】 東京活動委員会

【内 容】 国土交通省・民間サブワーキンググループの話題提供を中心に、無電柱化の低コストにつながる材料、工法についての情報提供や情報交換を行った。無電柱化を推進する市区町村長の会会員自治体担当者も参加を募った。第12回無電柱化推進展の展示説明や、東京都建設局ご担当者や当NPO東京支部の前川理事による講演も行った。

【実施場所】 住友林業会議室とWEBを併用。

【実施時期】 R6年4月からR7年3月までに計5回 4/18、6/27、8/8、12/5、2/12

【対象者】 当法人正会員の企業を中心にメーカー、建設コンサル、商社等が発表。無電柱化を推進する市区町村長の会勉強会会員の自治体関係者も参加。毎月会員10名～20名参加。その他の行政関係者を合わせると20名～40名参加

【支出】 0千円

【事業名】 北海道活動委員会

【内 容】 北海道開発局、道庁等と無電柱化についての情報交換や情報提供、「無電柱化の日」の北海道でのイベント運営についての検討も行った。

【実施場所】 北海道札幌市内の会議室とWEBを併用

【実施時期】 R6年4月からR7年3月までに計6回 4/19、7/17、9/5、10/28、12/9、2/14

【事業の対象者】 会員・オブザーバー・行政関係者20名～40名参加

【支出】 23千円

【事業名】 沖縄活動委員会

【内 容】 主に沖縄方面の会員・顧問と無電柱化についての情報交換や情報提供を行う。

【実施場所】 沖縄県那覇市内の会議室とWEBと併用

【実施時期】 R6年4月からR7年3月までに計4回 4/8、6/26、9/10、2/13

【事業の対象者】 会員10名～20名参加

【支出】 0千円

【事業名】 九州支部活動委員会

【内 容】 主に九州方面の会員と無電柱化についての動向やその他情報交換や情報提供を行った。

【実施場所】 WEB

【実施時期】 R6年4月からR7年3月までに計1回 9/3

【事業の対象者】 会員10名～20名参加

【支出】 0 千円

【事業名】 中部支部勉強会

【内 容】 主に中部方面の会員と無電柱化についての動向やその他情報交換や情報提供を行った。

【実施場所】 ウィンクあいち 908 号室

【実施時期】 R6 年 4 月から R7 年 3 月までに計 1 回 6/25

【事業の対象者】 会員 20 名程度参加

【支出】 15 千円

(5) 研修教育事業

【事業名】 無電柱化住宅見学会 ～つくば市の無電柱化事例を、わかりやすく解説～

【内 容】 現地無電柱化住宅見学会。会場に移動後、講演

【実施場所】 研究学園内の無電柱化住宅地 会場：つくば市役所 会議室

【実施時期】 R6 年 10 月 16 日 13:00～17:00

【事業の対象者】 現地参加 13 名、WEB 参加 6 名

【当日スケジュール】

1. 開会あいさつ 東京支部長 伊津元博
2. 講演 つくば市の電線地中化事業の経緯と課題
つくば市学園地区市街地振興課 渋谷様 (WEB 配信)
3. 研究学園内の無電柱化住宅地を見学
徒歩圏内で移動できる範囲で 2～3 か所
案内：プレイスメイキング研究所 代表取締役 温井達也様
4. 市役所会議室に戻り 質疑応答及びまとめ 事務局長 井上利一
5. 謝辞・アンケートのお願い

【支出】 10 千円

【事業名】 無電柱化街並み見学会 岡山県矢掛町

【内 容】 矢掛町役場で矢掛町建設課 渡邊課長に「矢掛町の無電柱化」整備過程と合意形成の工夫、現在進めている街づくり政策について講演。講演後、NPO メンバーで現地見学をする。現地で当日開催されている「全国町並みサミット矢掛大会 2024 年」(やかげ文化センター)で井上事務局長が講演

【実施場所】 矢掛町役場・やかげ文化センター

【実施時期】 R6 年 11 月 24 日 9:30～16:20 (井上事務局長の講演も含む)

【事業の対象者】 現地参加 6 名

【事業名】 北海道支部主催 札幌市立伏見小学校で出前授業

【内 容】 無電柱化の推進が「街の安全や防災並びに景観形成に貢献する事」を学んでもらうため、NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク北海道支部の主催で、国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チームのご協力もいただき、札幌市立伏見小学校 (小学 4 年生) にて、無電柱化出前授業を実施。

【実施場所】 札幌市立伏見小学校

【実施時期】 R6 年 12 月 10 日 4・5 時間目

【事業の対象者】 同校の小学 4 年生 (26 名@ 4 クラス=104 名)が対象

【支出】 19 千円

2 その他の事業

(1) 社員総会の開催状況

【会議名】 第 17 回社員総会

令和6年6月24日

大阪市立総合生涯学習センター6階 第1研修室で実施

【会議の参加者】 会員数108 参加者35 他委任状提出会員29

(2) 理事会その他役員会の開催状況

【会議名】 第218回理事会（東京）

【内 容】 6月度活動委員会について、11月10日のイベントについて、無電柱化街並み見学会について、民間の技術について

【実施場所】 住友林業会議室 M-5、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年4月18日

【会議の参加者】 理事6名・事務局2名

【会議名】 第219回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、各支部の方針について、各支部・理事報告

【実施場所】 住友林業会議室 M-5、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年4月18日

【会議の参加者】 理事8名・事務局2名

【会議名】 第220回理事会（東京）

【内 容】 6月度活動委員会について、無電柱化推進展の案内について、街並み視察会の企画について、11月10日無電柱化の日イベントについて

【実施場所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年5月23日

【会議の参加者】 理事7名・事務局2名

【会議名】 第221回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、団体の新規入会条件に関して、各支部活動方針について、支部経費の使い道について、総会・総会セミナーの進捗報告、推進展の進捗報告

【実施場所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年5月23日

【会議の参加者】 理事8名・事務局2名

【会議名】 第222回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、推進展進捗、団体の新規入会についての進捗、各支部・理事報告、会員拡大に向けての意見

【場 所】 大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年6月24日

【会議の参加者】 理事16名・事務局2名

【会議名】 第223回理事会（東京）

【内 容】 第12回無電柱化推進展について、つくば市街並み見学会について

【場 所】 住友林業会議室 M-6、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年6月27日

【会議の参加者】 理事7名・事務局2名

【会議名】 第224回理事会（東京）

【内 容】 8月度の東京活動委員会について、無電柱化推進展の進捗、住宅見学会の進捗、無電柱化の日イベントについて

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年7月18日

【会議の参加者】 理事7名・事務局2名

【会議名】第 225 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、第 12 回無電柱化推進展の進捗報告、無電柱化の日イベントについて、支部経費について、無電柱化住宅見学会について、各支部・理事報告

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 7 月 18 日

【会議の参加者】 理事 9 名・事務局 1 名

【会議名】第 226 回理事会（東京）

【内 容】 東京活動委員会について、つくば市街並み見学会の進捗報告、無電柱化の日イベントについて

【場 所】 住友林業会議室 M-6、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 8 月 8 日

【会議の参加者】 理事 6 名・事務局 2 名

【会議名】第 227 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、クリアファイル製作代の追加予算申請について、広告募集について

【場 所】 住友林業会議室 M-6、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 8 月 8 日

【会議の参加者】 理事 9 名・事務局 2 名

【会議名】第 228 回理事会（東京）

【内 容】 無電柱化住宅見学会の概要説明、その他

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 9 月 19 日

【会議の参加者】 理事 8 名・事務局 2 名

【会議名】第 229 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、低コスト WG・民間 SWG の概要報告、全国技術委員会 OSAKA の内容について、無電柱化住宅見学会について、無電柱化ショート動画コンテストについて、矢掛町見学会について、広告募集について、各支部・理事報告

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 9 月 19 日

【会議の参加者】 理事 7 名・事務局 2 名

【会議名】第 230 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、国交省第 1 回技術検討会の概要報告、全国技術委員会 OSAKA について、無電柱化住宅見学会の概要報告、広告募集について、旅費・交通費の件について、各支部・理事報告

【場 所】 WEB（Microsoft Teams）

【実施日】 R6 年 10 月 17 日

【会議の参加者】 理事 6 名・事務局 1 名

【会議名】第 231 回理事会（東京）

【内 容】 12 月度の東京活動委員会について、忘年会について、事務局報告

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6 年 11 月 14 日

【会議の参加者】 理事 6 名・事務局 2 名

【会議名】第 232 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、無電柱化の日イベントの総括、国交省・民間 SWG について、全国技術委員会 OSAKA の予定について、NPO 次年度方針について

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年 11月 14日

【会議の参加者】 理事 8名・事務局 2名

【会議名】 第 233 回理事会（東京）

【内 容】 活動委員会の予定について、4月の活動委員会について、東京支部の次年度方針

【場 所】 住友林業会議室 C-2、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年 12月 5日

【会議の参加者】 理事 6名・事務局 2名

【会議名】 第 234 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、次年度方針について

【場 所】 住友林業会議室 C-2、WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R6年 12月 5日

【会議の参加者】 理事 8名・事務局 2名

【会議名】 第 235 回理事会（東京）

【内 容】 東京活動委員会について、2025年度の年間スケジュールについて、2025年度の東京支部方針について

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R7年 1月 15日

【会議の参加者】 理事 7名・事務局 2名

【会議名】 第 236 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、2025年度方針について、各理事会・総会日程の確認、今年度無電柱化推進展の展開について

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R7年 1月 15日

【会議の参加者】 理事 7名・事務局 2名

【会議名】 第 237 回理事会（東京）

【内 容】 今年度の東京支部の方針について、シンポジウムについて、事務局報告、今年度無電柱化推進展の展開について

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R7年 2月 12日

【会議の参加者】 理事 8名・事務局 1名

【会議名】 第 238 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告、2025年度方針について、各理事会・総会日程の確認、各支部・理事報告

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R7年 2月 12日

【会議の参加者】 理事 11名・事務局 1名

【会議名】 第 239 回理事会（東京）

【内 容】 本日と次回の活動委員会について、今年度の無電柱化推進展・シンポジウムについて、首長会総会の件、東京支部の方針について

【場 所】 WEB（Cisco Webex）

【実施日】 R7年 3月 12日

【会議の参加者】 理事 6名・事務局 2名

【会議名】 第 240 回理事会（合同）

【内 容】 事務局報告（今後の予定）、各支部方針について、合同理事会・総会・総会セミナーの日程・内容

について、今年度の無電柱化推進展の展開について、各支部・理事報告、学生会員の新設について、無電柱化シンポジウム（案）として、

【場 所】WEB（Cisco Webex）

【実施日】R7年3月12日

【会議の参加者】理事8名・事務局2名

以上

第2号議案

令和6年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表(第18期)

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	192,866		
普通預金	11,946,291		
売掛金	0		
商品	132		
立替金	0		
前渡金	7,900		
流動資産合計		12,147,189	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			12,147,189
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	28,215		
短期借入金	325,074		
未払金	324,616		
仮受金	50,000		
未払法人税等	70,000		
預り金	61,995		
流動負債合計		859,900	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			859,900
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		11,613,753	
当期正味財産増減額		-326,464	
正味財産合計			11,287,289
負債及び正味財産合計			12,147,189

令和6年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録(第18期)

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	192,866		
普通預金	11,946,291		
売掛金	0		
商品	132		
立替金	0		
前渡金	7,900		
流動資産合計		12,147,189	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			12,147,189
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	28,215		
短期借入金	325,074		
未払金	324,616		
仮受金	50,000		
未払法人税等	70,000		
預り金	61,995		
流動負債合計		859,900	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			859,900
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		11,613,753	
当期正味財産増減額		-326,464	
正味財産合計			11,287,289
負債及び正味財産合計			12,147,189

当法人の財産目録に相違ございません

特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

理事 高田 昇



令和6年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書(第18期)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員入会金/団体	40,000		
正会員入会金/個人	12,000		
正会員年会費/団体	4,020,000		
正会員年会費/個人	156,000		
賛助会員年会費/団体	780,000		
賛助会員年会費/個人	27,000	5,035,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
3 事業収益			
コンサルティング事業収入	579,170		
研修教育事業収入	0		
広報事業収入	0		
協賛金	670,000		
その他販売収入	1,000	1,250,170	
4 その他収益			
受取利息	7,705		
雑収入	1,010,138	1,017,843	
経常収益計			7,303,013
II 経常費用			
1 事業費			
コンサルティング事業費	480,495		
研修教育事業費	120		
広報事業費	1,602,130		
その他販売事業費	0	2,082,745	
2 管理費			
給与手当	3,252,000		
雑給	155,830		
法定福利費	647,739		
福利厚生費	5,282		
広告宣伝費	334,886		
旅費交通費	356,378		
通信費	36,216		
備品・消耗品費	24,058		
リース料	64,901		
租税公課	600		
支払手数料	15,140		
支払報酬	55,000		
会議費	143,515		
諸会費	24,000		
事務所経費	360,000		
雑費	0	5,475,545	
経常費用計			7,558,290
当期経常増減額			-255,277
III 経常外収益			
経常外収益計		0	0
IV 経常外費用			
雑損失		9	9
経常外費用計			9
税引前当期正味財産増減額			-255,286
法人税、住民税及び事業税			71,178
当期正味財産増減額			-326,464
前期繰越正味財産額			11,613,753
次期繰越正味財産額			11,287,289

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

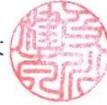
(単位:円)

科目	コンサルティング事業費	研修教育事業費	広報事業費	その他販売事業費	合計
(1) 人件費					0
給料手当					0
臨時雇賃金					0
法定福利費					0
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
業務委託費					0
旅費交通費					0
その他事業費	480,495	120	1,602,130	0	2,082,745
その他経費計	480,495	120	1,602,130	0	2,082,745
合計	480,495	120	1,602,130	0	2,082,745

令和7年5月22日

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇 殿

監事 及川 健太



私は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、財産目録、活動計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

令和7年度 事業計画書

特定非営利活動法人電線のない街づくり支援ネットワーク

I 事業実施の方針

この1年を通じてわが国では都心部から郊外エリアへと全国的に無電柱化の動きが進みつつある。

当NPO法人としても、この間、北海道から沖縄へと地域状況に応じた無電柱化への取り組みもみられる。今年度はそれらの動きを受けて、従来の方針を発展させると共に、多様な地域・事業目的・技術の進化を活かした活動の方針とする。

令和7年度スローガンとして

「無電柱化は喫緊の社会課題です」

「地域や現場に応じた最適な無電柱化アクションプランをすみずみまで」
を掲げる。

具体的な活動項目

1. 無電柱化の目的と意義を改めて考える

(1) 防災重視の方針をかかげる

2024年の元旦に発生した能登半島沖地震の調査で、地中に埋設された配管は、破損することなく、通電していることが国土交通省の調査で分かった。

1995年の1月17日に発生した阪神・淡路大震災でも地中線の被災率は架空線に比べて極めて低いことが分かっている（架空線の被災率2.4%に比べ、地中線は0.03%）。

また地震や台風が発生するたびに電柱が倒壊し、電線が断線し、停電がおこる。倒壊した電柱・電線類は緊急輸送の妨げになり、一刻を争う人命救助や火災現場に向かう緊急車両の道をふさぐ。

防災強化の観点からも緊急輸送道路を中心とした無電柱化推進を全国規模で訴えていきたい。

無電柱化は災害時における道路や通信網の確保、避難経路の整備、災害対応のスピード向上に貢献します。医療機関・拠点の電源・通信の確保、近年増加している木密地域での火災への迅速な対応などが可能となり、人命の救助に大きな役割を果たします。

総務省の発表では防災への出動が大幅に増える状況下で、レスキューと医療の関係が重要になっている。今後のNPOの活動として、総務省、消防のレスキューとの連携、厚生労働省の医療関係との関わりが重要な役割だと考える。

(2) 狭隘道路や住民が多く住む地域（ラストワンマイル）の無電柱化推進を考える

防災重視の観点から、緊急輸送道路での無電柱化は進みつつあるが、住宅地などの面整備での無電柱化は、狭隘な道路が多いという施工面での難しさや、費用が要請者の負担になる場合が多いこと、補助金申請の際の手続きの煩雑さから、電柱の増加が止まらない。住民が多く住む地域（ラストワンマイル）の無電柱化が進んでこそ無電柱化の目的が果たせたとと言えるのではないかと。

電柱が減るところか増え続けている現状にNPOの立場からストップをかけていきたい。

(3) 景観面での無電柱化を支援・促進する

全国の国立公園・景観地区で美しい景観を損なう場面への問題提起や、インバウンドの復活と共にオー

パーツリズム対策や「日本の原風景」へのニーズに対応できる無電柱化を促進するといった動きを強める。

2. 無電柱化推進のための連携を強化する

(1) 電線管理者との連携強化を図る

- ・無電柱化に関する課題解決には、電線管理者との協力が不可欠である。電線管理者との連携をさらに強化し、全国規模での協力を促進していく。

(2) 引き続き国・自治体・行政機関との連携を強化していく

- ・自治体が無電柱化の事例を求めている状況に対応するため、成功事例を紹介し、地域ごとの導入促進を支援していきたい。国土交通省や他の行政機関とも連携し、自治体担当者の一助となるようなセミナーや勉強会（東京活動委員会、全国技術委員会OSAKA）で情報の発信を行う。
- ・特に、無電柱化を推進する市区町村長の会と一般財団法人日本みち研究所とは、セミナー・勉強会・情報共有等で引き続き連携していく。

3. 規制緩和と新技術・工法の工夫を提案する

(1) 民間技術の導入と支援

- ・民間技術の積極的な導入を支援し、規制緩和や新技術の提案を行うことで、技術革新を促進する。

(2) 現行制度の検証と改善提案（規制緩和）

- ・直接現場に関わる民間の立場を活かして、国の部会でも議論が進められている現行制度に関して、更に課題を抽出し、検証を行い、国に積極的に改善提案をする。
- ・民間側溝配管規制の緩和提案：側溝配管の規制緩和を提案し、狹隘道路などの無電柱化の推進に寄与する。
- ・T-25規制緩和と耐荷重検証：T-25規制緩和提案とともに、小型BOX（T-14）の耐荷重についての検証を行い、効率的で安全な工法の導入を提案する。
- ・軽量化とコスト削減：新しい軽量で持ち運びやすい樹脂製の製品を導入し、狹隘道路での無電柱化を可能に。工事期間を短縮し、自治体や関係者の関心を引く。

(3) コスト効率と施工の改善

- ・低コスト実現に向けた提案：低コストの実現に向け、規制緩和や新しい工法の導入を進める。特に、歩掛の問題や人件費に注目し、施工業者との協議を通じて実現可能なコスト削減策を検討する。
- ・地上機器設置交渉の改善：現行の試験掘り→電力会社→交渉というプロセスにおける改善を図り、工事の遅延を防ぎ、コスト削減を進める。
- ・昼間の常設作業帯の好事例：昼間の常設作業帯の成功事例を紹介し、増やしていくことが重要。これにより、無電柱化の作業がスムーズに進むことを実証する。

※夏場においては、夜間工事のほうが効率的な場合があるなど、現場の意見を反映させたい。

4. 無電柱化の事例の紹介と普及活動に努める

(1) 民間事例紹介の推進をはかる

- ・無電柱化の成功事例、特に岡山県矢掛町やその他の事例を紹介し、自治体に対する普及を進める。成功した事例を広め、具体的な成果を示す。
- ・見附市、先斗町、東海市、睦沢町、佐久市、矢掛町、福知山市などでの事例を整理し、検証した上で、低コスト化への課題を解明し、国や関係機関とも綿密に連携して情報交換して、低コスト化手法の普及・拡大に努める。

- ・当 NPO から提案した会員企業の技術が認められ、普及しつつあるが、普及するにしたがって適材適所での使用法の検討や情報共有を進めていく。

(2) 伝統的建造物群保存地区等優先性の高いエリアでの事業化を支援、促進する

これまでに取り組んだ「重伝建地区」へのアンケート実施を生かしての相談・支援をさらに強め、無電柱化推進の契機につなげる。

重伝建地区・伝建地区の監督官庁は文化庁であることに留意して、連携をとりながら進めていく。

(3) 新規メーカーの参入促進をはかるとともに、個人も含めた会員サービスの充実も検討する

無電柱化に賛同いただける企業・個人への会員拡大：現在、当NPOには、無電柱化の推進に賛同いただいている個人のほか、無電柱化に関わるメーカー、施工関連業者、コンサル、ハウスメーカー、その他関連部品・部材メーカーなど多岐にわたっているが、更に無電柱化に間接的に関わる快適なまちづくりに寄与する企業にも声をかけて、会員拡大につなげる。

対面で実施するセミナーやシンポジウムの実施：対面で実施するセミナーやシンポジウムの開催により、企業間・個人間のコミュニケーションがとれる土壌をつくる。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

① 電線のない街づくりに関するコンサルティング事業

【内 容】 電線のないまちづくり支援業務

- ① 無電柱化支援：無電柱化設計業務 無電柱化コスト削減提案 住民の合意形成支援
- ② 無電柱化セミナー・勉強会：住民・行政・電線管理者向け
- ③ 地方自治体向け無電柱化コンサルタント業務：無電柱化計画づくり、開発地での無電柱化支援 勉強会等

【実施場所】①②③ 全国

【実施日時】①②③ 随時

【事業対象者】行政、まちづくり協議会、商店街組合、ディベロッパー等

【収 入】 1,000 千円

【支 出】 900 千円

【内 容】 無電柱化を推進する市区町村長の会主催の総会・勉強会の業務受託

- ① 無電柱化を推進する市区町村長の会 総会
- ② 無電柱化を推進する市区町村長の会 勉強会

【実施場所】① 場所：衆議院第一議員会館 地下 1 階大会議室・オンライン、②下関市内の会場

【実施日時】① 6月13日、② 11月21日

【事業対象者】無電柱化を推進する市区町村長の会会員（行政関係者）、当 NPO 正会員

【収 入】 400 千円

【支 出】 360 千円

② 研究開発事業

【内 容】 国交省無電柱化推進技術検討会_低コスト推進 WG_民間 SWG への参加

6 回/年 国交省無電柱化技術検討会 低コスト推進 WG 民間サブワーキンググループ (SWG) において、無電柱化推進計画の施策実現に向けた、低コスト化（目標 20%OFF）の実現に向けて民間の立場から技術・製品・規制緩和などの応募や提案をおこなう。

【実施時期】 R7 年 4 月～R8 年 3 月

【収 入】 0 千円

【支 出】 0 千円

【内 容】 全国技術委員会（大阪本部・東京支部）

民間 SWG で取り上げられた低コスト技術・工法の利用促進を図るため、製品・施工担当者に実務者向け説明会を依頼し、会員間の情報共有、意見交換会を実施する。また、自治体・ディベロッパー等の発注者、建設コンサルタント等の設計者にも参加を募り、勉強会参加者の幅を広げることで、実際の活用を目指す。無電柱化を推進する市区町村長の会会員にも参加を呼び掛ける。大阪本部・東京支部で開催。大阪・東京で年各 5 回、計 10 回実施

【実施時期】 R7 年 4 月～R8 年 3 月

【収 入】 0 千円

【支 出】 50 千円

【内 容】 各支部活動委員会（北海道支部・沖縄支部・中部支部・九州支部）

NPO 会員保有の低コストを可能にする無電柱化技術（従来技術・新技術）の利用促進を図るため、会員間の情報共有、意見交換会の他、各支部での無電柱化広報活動、技術検証、視察会等を実施する。各支部主導で 2 か月～3 か月に 1 回程度実施。中部支部は年 1 回。

【実施時期】 R7 年 4 月～R8 年 3 月

【収 入】 0 千円

【支 出】 500 千円（各支部予算：年間 100 千円）

③ 広報相談事業

当法人の活動内容を多くの関係者や国民に知っていただき、無電柱化を推進する世論を作る。

【内 容】 国・行政・他団体との連携による啓発事業（無電柱化シンポジウム・セミナー、無電柱化の日セミナーなど）

【実施日時】 東京での無電柱化の日セミナー、北海道での無電柱化パネル展等を開催予定。

【事業対象者】 行政向け 民間向け 一般向け

【収 入】 0 千円

【支 出】 150 千円

【内 容】 第 13 回無電柱化推進展への出展

無電柱化の普及・促進と来場者の相談を受け、支援するとともに、NPO の事業内容を PR し、会員拡大を図る。無電柱化をより具体的にアピールするためにブース壁面に全国の無電柱化好事例を示す。それに加えて協賛企業ブースを新たに設け、無電柱化好事例と連動した会員企業の製品・工法技術を紹介し、来場者の興味をひく。

【実施日時】 R7 年 7 月 23 日～25 日（第 13 回無電柱化推進展・東京ビッグサイト東展示棟）

【事業対象者】 行政向け 一般向け 実務者向け

【収 入】 350 千円

【支 出】 1,350 千円

【内 容】 国・行政・他団体との連携による啓発事業（無電柱化の日イベント）

【実施日時】 11 月 10 日の「無電柱化の日」前後に啓発事業を実施

※行政機関の要請に応じて、参加する。無電柱化を推進する市区町村長の会、日本みち研究所との連携も図る。

【事業対象者】 行政向け 民間向け 一般向け

【収 入】 0 千円

【支 出】 50 千円

④ 情報収集事業

【内 容】 沖縄支部セミナー

【実施日時】 R7 年 6 月 2 日

【事業対象者】 会員・地元企業・市民

【収 入】 0 千円

【支 出】 80 千円（会場費・講師派遣費等）

【内 容】 無電柱化街並み見学会（東京支部主催）
【実施日時】 R7年10月末日
【事業対象者】 会員
【収 入】 0千円
【支 出】 10千円（会場費等）

⑤ 研修教育事業

【内 容】 各地方、公共団体、街づくり協議会等での無電柱化勉強会開催
【実施場所】 全国
【実施日時】 随時
【事業対象者】 行政（都市整備・道路担当課）担当者、住民等対象

【内 容】 小学生向け無電柱化出前授業／大学生向け無電柱化講義の実施
【実施場所】 （候補地）札幌市・大阪府
【実施日時】 随時
【事業対象者】 小学校高学年／大学工学部系 政策科学系のゼミ向け
【収 入】 0千円
【支 出】 100千円

2 その他の事業

なし

以上

令和7年度 活動予算書(第19期)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

(単位:円)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1 受取会費			前年会員数 のべ128名 (法人93社 個人35名)
正会員入会金/団体	100,000		20,000 × [+新規5社]
正会員入会金/個人	20,000		4,000 × [+新規5名]
正会員年会費/団体	4,320,000		60,000 × 67社 [+新規5社]
正会員年会費/個人	186,000		6,000 × 26名 [+新規5名]
賛助会員年会費/団体	930,000		30,000 × 26社 [+新規5社]
賛助会員年会費/個人	27,000	5,583,000	3,000 × 9名
2 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
3 事業収益			
コンサルティング事業収入	1,400,000		コンサルティング事業収入
研究開発事業収入	0		活動委員会での技術検討
広報相談事業収入	0		シンポジウム・セミナー資料代
情報収集事業収入	0		街並み見学会等
研修教育事業収入	0		各地方行政との勉強会費用
協賛金	800,000		シンポジウム・広報活動への協賛金
その他販売収入	1,000	2,201,000	書籍その他
4 その他収益			
補助金 助成金	1,000,000		
受取利息	7,000		
雑収入		1,007,000	
経常収益計			8,791,000
II 経常費用			
1 事業費			
コンサルティング事業費	1,260,000		コンサルティング業務外注費
研究開発事業	300,000		技術検討会会場費他
広報相談事業	1,000,000		シンポジウム・無電柱化推進展費用
情報収集事業	50,000		街並み見学会等
研修教育事業	50,000		勉強会交通費等
その他販売事業費	5,000	2,665,000	書籍等販売
2 管理費			
給与手当	3,300,000		事務局員人件費
雑給	150,000		アルバイト人件費
法定福利費	650,000		社会保険料等
研修採用費	0		研修費
広告宣伝費	300,000		NPOリーフ・チラシ他
交際費	40,000		
会議費	740,000		支部活動費
旅費交通費	350,000		シンポ・推進展等事務局移動費
通信費	40,000		郵便物・宅配便等発送費
事務用品費	20,000		事務局PC ソフト使用料 コピー代
諸会費	24,000		シビルNPO連携プラットフォーム年会費
リース料	65,000		HPサーバー・Pocket Wifi
支払手数料	15,000		振込手数料
事務局経費	360,000		ジオリゾームへ運営経費支払
租税公課	2,600		契約・登記印紙等
支払報酬料	55,000	6,111,600	税理士
経常費用計			8,776,600
当期経常増減額			14,400
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			14,400
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			14,400
前期繰越正味財産額			11,287,289
次期繰越正味財産額			11,301,689

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク

役員再任の件

令和7年度は役員改選の年に当たります。つきましては、下記の理事18名および監事1名の候補者をそれぞれ理事・監事に再任していただきたく お願いいたします。なお、役員任期は定時社員総会において次期役員が選任されるまでの2年間です。

■理事の候補者

氏名	担当	所属
【理事】		
高田 昇	理事長	(株)サルトコラボレイティヴ
松原 隆一郎	副理事長	放送大学教授
井上 利一	事務局長	(株)ジオリズム 代表取締役
荒関 勝則	大阪本部長	建設資材商社勤務
井上 了介	大阪本部	(株)イトーヨーギョー勤務
佐伯 康二	大阪本部	(株)オーコ 代表取締役
秋本 賢	大阪本部	(株)秋本組 代表取締役
伊津 元博	東京支部長	(株)イズマサ 代表取締役
佐々木 伊知男	東京支部	シンテック(株) 代表取締役
前川 充	東京支部	オムニアート(合) 代表
小方 規代和	東京支部	ミライズ公共設計(株) 代表取締役
北村 良	東京支部	個人
野原 光博	東京支部	個人
村山 一十四	北海道支部長	(株)長栄通建 代表取締役社長
伊志嶺 匡	沖縄支部長	(株)七和 代表取締役社長
喜屋武 尚	沖縄支部	(株)きゃん電研 代表取締役社長
北野 義也	中部支部長	北野電機(株) 代表取締役
増山 鉄也	中部支部	Sales lab(株) 代表取締役
【監事】		
及川 健太		及川総合会計事務所代表

以上